

2015年3月13日

各位

みずほ証券株式会社

## 組織改編のお知らせ

みずほ証券株式会社（取締役社長 本山博史、以下、「当社」）は、お客さまへのサービス提供力強化および営業推進体制強化等の観点から、2015年4月1日付で下記の組織改編を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、改編後の組織体制の詳細につきましては、別添の組織図をご参照下さい。

### 記

組織改編における主な変更点は、以下のとおりです。

#### 1. 投資銀行部門におけるカバレッジ体制の見直し

- お客さまの業種特性を踏まえた専門的かつ機動的なサービス提供を行う観点から、投資銀行グループ内のセクターカバレッジ第一部～第五部をジェネラル・インダストリーズグループ（GIグループ）とテレコム・メディア・テクノロジーグループ（TMTグループ）の2グループに再編（投資銀行グループは廃止）。GIグループには、セクターカバレッジ第一部、同第三部～同第五部、TMTグループには、セクターカバレッジ第二部を配置。
- 関西圏におけるカバレッジ体制強化の観点から、関西投資銀行部を関西投資銀行第一部、同第二部の2部体制に再編。
- みずほ銀行との兼職部であるコーポレートカバレッジ第二部と同第六部、同第三部と同第十部を統合（新組織名称はコーポレートカバレッジ第二部、同第三部）。
- カバレッジ担当部署を横断的に支援する組織として、コーポレートファイナンスアドバイザー一部を新設し、ソリューション提供力を強化。

#### 2. シンジケーション機能の強化

- プライシング・引受機能を一層強化する観点から、経営直轄組織としてシンジケーショングループを新設の上、投資銀行部門資本市場グループからエクイティシンジケーション部およびデットシンジケーション部を移管。
- 投資家ニーズを起点としたプロダクツの企画、開発および証券化・ノンフロープロダクツの引受販売等に関する推進を担当する部署として、シンジケーショングループにマーケットソリューション部を新設。

### 3. 機関投資家向け外債ビジネスの強化

- セールス／トレーディングの一体運営体制による機関投資家向け外債ビジネス強化の観点から、市場・商品部門金融市場グループに外国債券部を新設。

### 4. アセットマネジメントビジネス強化に向けた体制整備

- お客様のニーズにより即した商品組成のため、投信等のアセットマネジメント業務にかかる企画・開発および商品提供を一体的に推進すべく、機能部門アセットマネジメントグループ傘下のアセットマネジメント業務部および投資顧問部を国内営業部門へ移管(アセットマネジメントグループは廃止)。
- なお、アセットマネジメント業務部の私募投信にかかるプロダクト開発・サポート機能は、市場・商品部門ソリューション営業グループ傘下の運用ソリューション部の私募投信関連業務と統合し、市場・商品部門の直轄組織として新設するファンドビジネス推進部に移管。

### 5. 国内営業部門における法人営業体制の見直し

- 国内営業部門が所管する法人のお客様向けの IB（投資銀行）業務にかかるサービスの更なる向上の観点から、機能部門 IB 業務推進グループ傘下の公開引受部、ファイナンスコンサルティング部を国内営業部門へ移管（IB 業務推進グループは廃止）。
- 事業法人の運用ニーズに係るお客様窓口集約の観点から、市場・商品部門ソリューション営業グループ傘下の事業法人営業部を国内営業部門の法人グループへ移管(ソリューション営業グループは廃止)。
- 国内営業部門における公共・公益法人向けの営業推進・支援機能強化の観点から、公共・公益法人営業支援部を新設。
- IPO 業務強化の観点から、企業推進第四部を新設。

### 6. 営業店管理・支援機能の強化

- 営業店総務部課で行う各種業務の横断的な管理および業務効率化の推進を行う部署として、国内営業部門に営業店総務管理部を新設。
- 首都圏の営業店におけるコンサルティング営業業務等のサポートを行う部署として、国内営業部門に首都圏コンサルティング支援部を新設。

以上

# みずほ証券 組織図

